



阿南で元気を充電

大阪府の交通遺児を徳島県に招き、夏休みの思い出を作ってもらおう「とくしまがいっぱい体験ツアー」（主催：ダイードリンク(株)、トヨタカローラ徳島(株)）が行われました。招かれたのは大阪交通災害遺族会の小中高生20人。8月17日には、新野西小学校（休校中）近くで住民などと川遊びを通して交流しました。参加した鈴木拳心さん（12歳・堺市）は、「自然の中で遊べて楽しかった。また来たい」と満足したようでした。

県南の伝統芸能が勢揃い

県南で活動する伝統芸能5団体が、9月2日、新野公民館で「第5回県南芸能ライブ」を開催し、約180人が人形浄瑠璃や和太鼓の演目を楽しみました。阿波人形浄瑠璃の代表演目「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」を演じた新野中学校民芸部。部長の鶴羽祐弥さん（3年生）は「生き別れた子を思う母の気持ちを考えて一生懸命演じました」と話しました。見入っていた大下富江さん（77歳・新野町）は、「子どもの頃、祭りで見たい人形浄瑠璃を思い出しました」と感激のようでした。



地域の絆を結ぶ 八坂神社しめ縄作り

新野町西重友の八坂神社秋祭りに向けて、本殿の周りを飾るしめ縄を神社周辺住民55人が作りました。今年の稲作で出たわら600束を持ち寄って、1本のしめ縄に編んでいきました。しめ縄は太さが12cmで長さが55mの力作。吉田輝徳さん（73歳）は「今年もしめ縄を神社に飾れて良かった。地域の伝統を若い世代に継承していきたい」と汗をぬぐっていました。



海の周遊を満喫 SUP講習会開催

スタンド・アップ・パドルボード（SUP）の普及を図ろうと、講習会（主催：サステナブル阿南）が8月19日に椿町蒲生田で開催されました。SUPは、浮力の大きいボードの上に立ち、オールを使って漕いでクルージング、釣りなどを気軽に楽しめるマリンスポーツで、近年愛好者が急増しています。参加者8人は、講師から手ほどきを受け、海の周遊を満喫していました。



若者の声が山里に響く 武蔵野大生が農業体験

東京・武蔵野大学生による農業体験ボランティアが、8月24日～9月13日にかけて行われました。8月30日には、8人の学生が加茂町と十八女町のいちご農家4軒で苗の手入れを手伝いました。豊田繁さん（84歳・加茂町）は「暑い中、作業を手伝ってもらい助かる。毎年学生が来てくれることで若返る」と笑顔で話しました。本事業は、今年で5年目になります。